

2025年(令和7年) ダルい梅雨どきにこそ、活動的に過ごしましょう!

壬生川地区人口 4月末現在(前月比)

男性 2,197人 (+2)
女性 2,348人 (±0)
(合計) 4,545人 (+2)
世帯数 2,250戸 (+8)

壬生川公民館だより

6月

〒799-1341 西条市壬生川 200 番地
TEL・FAX 0898-64-2202
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp

カラー版は市のホームページに掲載しています。こちらから →



地域の力で美しく!

壬生川地区一斉清掃

5月11日(日)、雨で開催を心配された「壬生川地区一斉清掃」でしたが、早朝より壬生川の各地区で、無事行われました。



◀「若い人の力に頼っとんよ。助かるんよ。」と、ねぎらいの声を背に!

▲一斉清掃に合わせ、帰省された方も! 「元気だったん?」「大きくなったねえ。」と、ご近所同士の会話も弾み、作業の場は一転、交流の場に。



側溝の掃除や、草引きなど、地域の多くの方々の手で、町がさらにきれいになりました。「地域の一体感」の高まりを感じました。



【6月のごみ収集日】 きちんと分別し、当日の朝8時までに決められた場所へ

- ◆古紙 (新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ)・・・ 4日(第1水曜日)
- ◆ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶・カセット式ガスボンベ・・・ 11日(第2水曜日)

6月の主な行事予定

| 日 | 曜 | 行 事 |
|----|---|--|
| 1 | 日 | 休館日 壬生川校区レクレーションバレーボール大会(壬生川小学校体育館) 9:00~ |
| 2 | 月 | 人権相談 9:00~15:00 |
| 7 | 土 | 休館日 放課後子ども教室(運動) 小学校体育館 |
| 8 | 日 | 休館日 |
| 14 | 土 | 休館日 ・ 放課後子ども教室(工作) |
| 15 | 日 | 休館日 |
| 18 | 水 | 壬生川カフェ 10:30~ |
| 19 | 木 | 第1回公民館協力委員会 19:00~ |
| 21 | 土 | 休館日 ・ 放課後子ども教室(茶道) |
| 22 | 日 | 休館日 |
| 28 | 土 | 休館日 放課後子ども教室(AGOであそぼ) |
| 29 | 日 | 休館日 |

講座・教室等のご案内

毎月第3水曜日は『壬生川カフェ』に!



地域のどなたでも気軽に立ち寄り、話し合いができるつどいの場「壬生川カフェ(シニアカフェ)」を開催しています。ご家族の参加も可能です。予約の必要はありません。お気軽にお越しください。

- 日時: 6月18日(水) 10時30分~11時30分
- 場所: 壬生川公民館 1階 学習室3他
- 持参物: 水分補給用の飲み物
- 内容: 脳トレ・レクリエーション等
- 問合せ: 西条市地域包括支援センター東予 TEL 66-5520 担当:武田



4月16日(水)のカフェは、間違い探しなどの脳トレ問題に挑戦。制限時間内に解き終え、脳がスッキリ!笑顔いっぱいの皆さん。

「人権相談所」を開設します!

差別やいじめ、体罰、家庭および近隣関係等、人権問題で悩み事や、心配事がありましたら、ご相談ください。相談は無料で秘密は守られます。

日時: 6月2日(月)9:00~15:00
会場: 壬生川公民館 学習室3
相談員: 人権擁護委員

地域で子育て支援してみませんか?

子育てのお手伝いをしてくださる会員を募集中! 年齢・性別・経験問わず活躍中です。

西条ファミリー・サポート・センターは、地域で育児の援助を行う人(サポート会員)と受けたい人(依頼会員)が会員となり、子育ての助け合いを行う会員組織です。

※報酬 1時間 600円~900円 (有償のボランティア活動)

サポート会員として活動するためには、センターが開催する講習会の受講が必要です。

令和7年度1回目の講習会を
6月25日~27日に開催予定
センター・講習会の詳細
「西条ファミリーサポート」で検索してください。
【会員登録・お問合せ】
西条ファミリー・サポート・センター
(西条市役所 保育・幼稚園課内)
電話 0897-53-1666
西部支所 市民福祉課 こども係
電話 0898-64-2700

「高齢運転者交通安全教室」開催

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の交通安全教室を開催します。

ドライブレコーダーによる御自身の運転の再確認や急発進防止装置などを体験することができます。ぜひ、御参加ください。

○日程: 令和7年6月30日(月)
○時間: 午前の部 9時~12時
午後の部 13時30分~16時30分
※申込時にどちらか希望をお伝えください。

○場所: 西条ドライビングスクール (西条市石田284番地)

○対象: 市内在住のおおむね65歳以上の方で自動車運転免許をお持ちの方

○定員: 午前・午後でそれぞれ20人(先着順)

○応募締切: 6月18日(水)
○持参物: 運転免許証
眼鏡等運転に必要なもの

○申込先: 西条市役所 危機管理課くらし安全係
TEL 0897-52-1284(直通)



揺れる薄紫色のカーテン



▲軽く1メートルを超える房が幾房も!

喜多台の「藤森公園」の藤の花が、今年も見事に花を咲かせました。壬生川小学校コーラス部の皆さんによる「藤森の歌」のCDが流れる中、市内外から訪れた方たちが、美しい花と、そのかぐわしい香りを楽しまれていました。

今年も、喜多台の老人クラブや自治会、愛護班など地域の皆さんが一年かけ丹精込めて育てられました。

地域の力で作り上げた生きた芸術作品、壬生川地区に爽やかな春を運んでくれました。



壬生川小学校から「PTA 資源回収ご協力のお願い」

5月10日(土)に予定、お願いしておりました資源回収は、悪天候のため、下記のとおり変更となりました。ご協力お願いいたします。

日時：6月13日(金) 午前9時～午後3時
 悪天候の場合は実施しません。お手数ですが、壬生川小学校までお問合せください。
場所：壬生川小学校 運動場
 運動場門からお入りいただき、設置のボックスの中に、仕分け、お入れください。
 出入りする車には、十分お気をつけください。

回収物：新聞・雑誌・ダンボール・アルミ缶
 ・新聞、雑誌などを縛っていたヒモはお持ち帰りいただけると助かります。
 ・アルミ缶は、中を洗い、乾かしてください。つぶれていても構いません。
スチール缶は、絶対に混ぜないでください。
 ・ジーンズ等の古着は、集めません。

ひうち句会

(順不同)

- ひとりき ひとりき 一人来て一人去りたる残花かな
- 桜蕊散り敷く雨の忠霊塔
- 手を上げて横断歩道若葉風
- ゴールデンウィーク卓上に山の地図
- 柿若葉両手さし上げ嬰笑まふ
- 矢野 悦子
- 丸山 英子
- 岡部 和代
- 石原 宏子
- 稲井 卓機

住みよい豊かな地域づくりをめざし

5月7日(水)、壬生川公民館で、「令和7年度壬生川地区連合自治会総会」が執り行われました。
 令和6年度事業実績報告・収支決算報告・会計監査報告、令和7年度事業実施計画・収支予算などを審議しました。無事全ての議案が全会一致で承認されました。



～毎月10日は人権を考える日～

令和6年度 人権問題に関する市民意識調査報告から(その2)

人権擁護課、西条市人権教育協議会では、令和6年5月21日～6月10日に「令和6年度 人権問題に関する市民意識調査」を実施しました。これは、人権施策推進にあたり、5年に1度実施し、人権問題に関する市民の意識を把握し、今後の施策の基礎資料とするものです。
 (詳細について)

西条市ホームページ(人権擁護課)をご覧ください。下記のURLからお入りください。

<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/jinkenyojo/ishikichosar6.html>

(問14) 部落問題(同和問題)について初めて知ったきっかけは何か

| | | |
|--------------------|------|-----|
| ア 家族 | 185人 | 24% |
| イ 近所の人 | 57人 | 7% |
| ウ 小学校の授業 | 289人 | 38% |
| エ 中学校の授業 | 58人 | 8% |
| オ 高校の授業 | 10人 | 1% |
| カ 大学の授業 | 3人 | 0% |
| キ 学校の友達 | 14人 | 2% |
| ク 職場の研修 | 17人 | 2% |
| ケ 同和教育の集会や研修会 | 37人 | 5% |
| コ テレビや新聞などのマスコミ情報 | 19人 | 3% |
| サ インターネット・SNS | 1人 | 0% |
| シ 部落問題にかかわる出来事があった | 5人 | 1% |
| ス 覚えていない | 31人 | 4% |
| セ 部落問題を知らない | 16人 | 2% |
| その他 | 10人 | 1% |
| 未回答 | 8人 | 1% |

部落問題(同和問題)について初めて知ったきっかけ

「小学校、中学校、高等学校の授業」で知ったと回答した人が5割近い割合となっています。さらに、「家族」「近所の人」と回答した人は3割となっています。

また、年代別にみると、50歳代以下は、「学校教育」において初めて知ったと回答した人が多く、7割～8割となっています。

愛媛県で、人権・同和教育が学校教育の中で行われるようになったのは、昭和40年頃からです。

昭和27年広島県の中学校で、教師による差別事件が起きたことを契機に、当時の文部省は学校教育及び社会教育を通じての同和教育の徹底を指示する次官通達「同和教育について」を出しました。

また、昭和40年に「同和対策審議会答申」が出され、同和教育への関心が高まりました。

さらに、昭和47年、義務教育史上はじめて、ある教科書会社の中学校社会科教科書に同和問題に関する記述がなされ、同和問題学習の重要性と不可欠性が認識されはじめました。(本県で使用している社会科教科書に同和問題に関する記述が掲載されたのは、小学校は昭和49年、中学校は昭和50年のことでした。)

学校教育における人権・同和教育は、部落問題の科学的認識(偏見ではなく、科学的に正しく理解すること)のもとに「正しい」人権意識を育てることにあります。また、現在行われている社会教育における人権・同和教育の学習会、研修会等は、正しい人権についての学習を通して、私たちの誤った認識を正していくものです。

| | 18～20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代～ |
|------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 家族 | 5.7% | 7.6% | 12.6% | 8.0% | 31.8% | 41.1% |
| 近所の人 | 0% | 0% | 0% | 2.7% | 6.0% | 17.4% |
| 小学校の授業 | 54.7% | 65.8% | 72.8% | 69.9% | 25.8% | 5.4% |
| 中学校の授業 | 15.1% | 6.3% | 7.8% | 9.7% | 8.6% | 5.0% |
| 高校の授業 | 1.9% | 1.3% | 0.0% | 0.0% | 2.6% | 1.6% |
| 大学の授業 | 1.9% | 0% | 0% | 0% | 0.7% | 0.4% |
| 学校の友達 | 0.0% | 1.3% | 0.0% | 0.0% | 3.3% | 3.1% |
| 職場の研修 | 3.8% | 0% | 2.9% | 0.9% | 1.3% | 3.5% |
| 同和教育の集会や研修会 | 1.9% | 1.3% | 1.0% | 3.5% | 7.9% | 7.0% |
| テレビや新聞などのマスコミ情報 | 0% | 5.1% | 0% | 0% | 1.3% | 5.0% |
| インターネット・SNS | 0% | 1.3% | 0% | 0% | 0% | 0% |
| 部落問題にかかわる出来事があった | 0% | 0% | 0% | 0.0% | 0.7% | 1.6% |
| 覚えていない | 11.3% | 5.1% | 1.0% | 2.7% | 4.6% | 3.9% |
| 部落問題を知らない | 3.8% | 2.5% | 0% | 1.8% | 2.0% | 2.3% |